

平成26年度 総務課 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
事業の発展、充実、拡大に努めます。	<p>近隣地域の介護需要を考慮しながら計画的に施設整備を進めます。</p> <p>災害等に備え、必要な業務が継続できるよう危機管理体制の向上を図ります。</p> <p>事業団のホームページをより多くの方に閲覧してもらうよう、様々な情報を定期的に更新しながら情報発信します。</p>	<p>法人運営では、監事監査及び年2回役員会を開催し、適正な予算管理、諸規定の改正等を行いました。</p> <p>平成27年度より、秩父市立養護老人ホーム長寿荘、秩父市特別養護老人ホーム偕楽苑、秩父市立上吉田高齢者生活支援ハウス吉祥苑、秩父市上吉田デイサービスセンターが指定管理者制度に移行することになり、9月より申請手続きを行い、3月に指定管理者に決定されました。また、指定管理期間が終了となる秩父市高篠デイサービスセンターも、引き続き当事業団に決定されました。</p>
新会計基準への移行を進めるとともに、予算の適正な執行に努め透明性のある経営を行います。	<p>法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告を行います。</p> <p>社会福祉法人新会計基準へスムーズに移行できるよう計画を立て段階的に進めます。</p>	<p>新会計基準への移行においては、研修への参加や公認会計士との個別相談等により規程の改正からソフト導入まで円滑に進めることができました。</p> <p>人事管理では、考課者と職員との面接を重視し、人事考課制度を計画通り運用しました。また、キャリアに応じた研修計画を作成し、内外の研修会に参加しました。職員採用については、学校訪問、当事業団ホームページの活用、説明会や体験研修の開催により、幅広く人材を確保することができました。</p>
職員の確保・定着を図り、人材育成に努めます。	<p>人事考課制度(目標管理制度)を運用し、人材育成を効果的に行います。</p> <p>人材確保に向け、学校訪問、求人広告、職場説明会等を行います。</p> <p>計画的に外部研修を活用し、職員一人ひとりの経験年数に応じたキャリアアップを行います。</p> <p>職員のメンタルヘルス、腰痛予防等、職場環境の充実を図ります。</p>	<p>労務管理では、職業病である腰痛、メンタルヘルス対策について安全衛生委員会を中心に検討し、職員研修を実施しました。</p>
建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。	<p>建物及び設備に関して、修繕及び機器更新の計画に基づき実行します。</p> <p>大規模修繕及び建物設備の入れ替えに関しては、必要に応じてプロジェクトチームを組織し、効率・効果的に行います。</p>	

平成26年度 特別養護老人ホーム偕楽苑 事業報告

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。	利用者自治会(なかよし会)において、生活の希望や生活課題への意見を受け止め、利用者の思いに添った暮らしを実現します。	なかよし会の開催等を通じ、利用者一人ひとりの希望を受け止め、外出行事や苑でのレクリエーション活動に取り組みました。札所御開帳にあわせ、1年をかけ34ヶ所巡礼し、延べ360名の利用者が参加した。また、入所以前に暮らしていた思い出の場所に出かけたり、地域の祭りや行事に多数参加しました。 秋にさんまの炭火焼や豚汁を手づくりをしたり、恒例の案山子作りでは、案山子の衣装を手縫いで作成するなど、利用者自身が持てる力を発揮し、生きがいづくりに取り組みました。 日々の暮らしの中で、様々な作業を利用者が生きがいとして取り組んでおり、その活動に感謝し、生きがいが大きくなるよう慰労会を開催しました。 広報誌の紙面充実に取り組み、利用者の日常生活の様子や地域の中で、利用者が暮らす様子等を積極的に掲載しました。 また、Facebookや苑内の掲示板を活用し、利用者のくらしを発信しました。 ご家族等への手紙に写真を添えて担当者より送付し、ご家族との関係性の構築に取り組みました。
	行事、レクリエーションや趣味活動等に取り組み、生きがいづくりを行います。	
	苑内作業や利用者の支え合い等を支援し、主体的な暮らしの場を実現します。	
個人史と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。	広報誌「ほのぼの偕楽苑だより」に加え、定期的に写真や家族へ手紙を発送することで、施設生活を知っていただくと共に、ご家族にとって施設が身近なものとなるよう取り組みます。	ご家族等への手紙に写真を添えて担当者より送付し、ご家族との関係性の構築に取り組みました。
	食事会やその他行事にご家族に積極的に参加していただき、家族関係を深めると共に、施設生活の充実に協力していただきます。	
	利用者、またその家族の希望に寄り添い、外出・外泊の支援や地域行事への参加等を行うことで、新たな人との繋がりが地域との繋がりが構築できるよう取り組みます。	
生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。	秩父市をはじめとした行政機関や包括支援センター等との連携を密接に持ち、虐待等の緊急ケースに迅速に対応します。	行政機関やケアマネージャーから、緊急的に在宅生活が困難となったケースを複数受け入れました。また、徘徊等のある重度認知症者や胃ろうや褥瘡処置の医療ニーズの高い利用者の受け入れも行いました。 年間利用率は、入所95.3%、短期入所91.5%でした。
	重度認知症者や医療ニーズのあるケースについても積極的に受け入れます。	
	特養入所利用率98%以上、短期入所利用率90%以上を実現します。	
専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。	食べることの喜びが感じられるよう、ゆったりとした食事場面をつくり、一人一人にあった食事提供を行います。	誕生日会では、全国ご当地グルメの提供、デザートやおにぎりのバイキング、鉄板焼、天ぷら、握り寿司等の実演を行うなど、内容の充実を図りました。 嘱託医や協力病院と密接に連携し、利用者の健康維持に取り組みました。
	嘱託医との連携を適切に行います。また、日々の健康観察を行い、その情報をしっかりと共有することで、利用者の健康維持に努めます。	

<p>個別機能訓練計画に基づき、他職種との連携のもとチームケアでリハビリに取り組み身体機能の維持に努め、安全に可能な限り自立した生活が送れるよう取り組みます。</p>	<p>定期的で大掃除を実施し、苑内の美化に取り組みました。また、空気加湿清浄機の導入やこまめな換気を行い、生活環境の改善に取り組みました。その活動を通して、職員の環境整備に関する意識を啓発することができました。</p>
<p>定期的な歯科往診と歯科衛生士の指導・助言に基づき、口腔ケアに取り組むことで健康づくりにつなげます。</p>	<p>認知症に関する研修、看取り研修、身体拘束防止研修、事故防止研修、感染症に関する研修等を行い、専門的知識を深めました。また、委員会や係の活動を通じて、職員一人ひとりが責任とやりがいを持って業務と処遇の改善に取り組みました。</p>
<p>グループでのゆったりとした入浴場面や個性性を重視した快適な排泄環境を整えることで、安楽な生活が送れるよう取り組みます。</p>	
<p>苑内美化やさわやかな空間づくりに取り組み、心地よく生活できる環境を実現します。また、個別の身体状況等に応じた生活環境を整えることで、安全な生活の場を実現します。</p>	
<p>認知症の専門研修、人権擁護、事故防止、感染症に関する研修等を行うことで、知識の共有と向上につなげ、職員の資質向上に取り組みます。また、資格取得に向けての気運を醸成し支援します。</p>	
<p>職員間の意見交換を活発に行うことで、一人ひとりの思いを実践の中に活かし、各人のやりがいを高揚し、組織として研鑽していきます。</p>	

平成26年度 養護老人ホーム長寿荘 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>入所利用の向上を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。</p> <p>秩父市をはじめ、入所措置機関との円滑な連携に努め、社会資源の一つとして地域社会に貢献します。</p>	<p>年度当初、入所者が42名でしたが、一時48名までになり、年度末には47名となりました。積極的に入所者を受け入れるため、近隣の行政機関を訪問し、情報提供を行いました。</p> <p>新規入所では、DVや触法者のケースなど緊急的な入所が多くありましたが、秩父市と連携を図り、円滑な受け入れができました。</p> <p>コスト意識についても、こまめな節電を入所者と共に実施しました。</p>
<p>専門機関・専門職として、常に改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。</p>	<p>職員間、職種間の情報共有をしっかりと行い、チームケアを実践することで、質の高いケアの実現に努めます。</p> <p>小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関との連携を深めることにより、入所者の健康管理に努めます。</p> <p>身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心して安全な生活の場を構築します。</p>	<p>ADLの低下に伴い車いすや歩行器を使用する状況になっても、専門職間でカンファレンスを行い、居室等の環境整備や体操等への参加支援を行い、本人の意向に基づく支援を行うことができました。</p> <p>また、看護師を中心に健康・身体状況を把握し、情報の共有に努め、入退院時には医療機関と連携を図り、情報交換やご家族との相談を行うことができました。</p> <p>利用者の重度化に対する支援についてはデイサービスの利用を促し、適切な介護が受けられるよう取り組みました。</p>
<p>ご家族や地域との繋がりを大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。また、入所者が「喜び」や「幸せ」を感じることができる暮らしの場を入所者とともに創造します。</p>	<p>入所者の喜怒哀楽に正面から向かい、入所者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、その人らしい生活の実現に努めます。</p> <p>自治会議の開催を通じ、入所者の声に耳を傾けることで、入所者の声を個別外出、行事、レクリエーション、趣味活動等に反映します。</p> <p>広報誌「ふれあい長寿荘だより」の発行や、日頃の生活状況の報告、ご家族との相談の実施等により、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。</p> <p>ボランティア、慰問等の受け入れ、地域行事への参加を通じて地域交流、社会参加の機会が持てるよう努めます。</p> <p>入所者の苑内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることができ、生きがい広がるよう支援します。</p>	<p>その人の生活歴や性格を尊重した接遇と、生活支援に取り組みました。統合失調症を抱える入所者に対しても傾聴を基本として訴えを受け止め、不安感や孤立感の解消に努めました。</p> <p>自治会議を通して、入所者の小さな声に耳を傾け、生活の改善や外出等の要望に応えることができました。また、ほのぼののルーム活動を通して、地域のお祭りや文化祭等の行事に参加することができました。その他、尾田蒔小運動会、特別支援学校文化祭への外出、女性民踊クラブや、社交ダンスの公民館クラブのボランティアを受け入れ地域交流を図りました。</p> <p>広報誌の発行に限らず、ホームページの活用、電話連絡等により、ご家族との繋がりを図れるよう努めました。</p>

平成26年度 蒔田デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。	利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。	今年度より定員を25名から30名に増員しました。重度利用者の積極的な受け入れと個別外出などの新たな取り組みにより、4月は利用率73%から、年度末には89%となり、年間目標である80%を達成しました。 新規利用者は14件あり、登録者数は、4月の65名から3月には78名となりました。
	在宅生活が可能な限り継続できるよう支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。	
	早番、遅番などの利用状況に合わせた勤務体制により、効率的な送迎等を行いサービス提供時間を確保します。	
介護のプロとして質の高いサービスを提供します。	毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め介護力の向上を図ります。	毎月の研修や他事業所との職員交換研修、外部への施設見学を行い、専門的知識を高め介護力の向上を図りました。 また、主介護者から排泄介助やトランス方法の相談を受け、自宅に訪問し習得してもらいました。 今年度より、利用者の意向を反映した個別外出を実施しました。昼食外出や買い物、お墓参りなどを個別に実施し、好評を博しました。
	ケアプランに基づく個別援助サービスを提供し、運動器・生活機能向上など介護予防に努めます。	
	介護職員にフロアリーダーを定め、介護職員、看護職員、相談員管理者等との連携を密に図ります。	
	外出レク、工作レク、物品管理等に係りを定め、職員の役割と責任分担を明確に定めます。	
	介護福祉士、介護支援専門員など、資格取得を目指す受験者をサポートします。	
地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。	地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を果たします。	保健センター祭りや吉田かかし祭りに作品を出品するなど地域行事に参加しました。 また地元ボランティア団体によるギター演奏や津軽三味線、フラダンスなど高篠デイや偕楽苑と協働して開催し、他事業所との交流も図れました。
	小学校や幼稚園・保育所との交流を図り、世代間のコミュニケーションの機会を提供します。	
	お花見外出や年中行事など、季節感を感じることができるレクリエーションを行います。	
	地域のお祭りや催し物など、地域行事に参加し地域交流を図ります。	
	広報誌を定期的に発行し、家族への利用状況の報告を行います。	

平成26年度 高篠デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。	利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。	今年度の年間平均利用者数は20人で、前年度より微増しましたが、利用率は66.6%にとどまり、目標の80%に到達しませんでした。 地域に密着したデイサービスの特性を生かし、近隣からの利用者を多く受入れ、年間35名の方が利用につながりました。
	在宅生活が可能な限り継続できるよう支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。	
	早番、遅番などの利用状況に合わせた勤務体制により、効率的な送迎等を行いサービス提供時間を確保します。	
介護のプロとして質の高いサービスを提供します。	毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め介護力の向上を図ります。	職員の資質向上を図るため外部施設の見学を2回実施しました。また、蒔田デイ、上吉田デイとの交換研修や認知症サポーター研修を行いました。 その他、管理者と職員との個別面談を実施し、現在の課題などを聞き取り相互理解を深めました。
	ケアプランに基づく個別援助サービスを提供し、運動器・生活機能向上など介護予防に努めます。	
	介護職員にフロアリーダーを定め、介護職員、看護職員、相談員管理者等との連携を密に図ります。	
	外出レク、工作レク、物品管理等に係りを定め、職員の役割と責任分担を明確に定めます。	
	介護福祉士、介護支援専門員など、資格取得を目指す受験者をサポートします。	
地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。	地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を果たします。	新たな取り組みとして、デイサービスの行事に地域の方に参加してもらいました。実施にあたり、近隣地域への回覧、ポスター掲示をし、多数の方が参加し地域交流が図れました。
	小学校や幼稚園・保育所との交流を図り、世代間のコミュニケーションの機会を提供します。	
	お花見外出や年中行事など、季節感を感じることができるレクリエーションを行います。	
	地域のお祭りや催し物など、地域行事に参加し地域交流を図ります。	
	広報誌を定期的に発行し、家族への利用状況の報告を行います。	

平成26年度 上吉田デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。</p> <p>利用者数等、状況に合わせた勤務体制により効率的な人員体制を定めサービスの向上を図ります。</p> <p>在宅生活が可能限り継続できるような支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。</p>	<p>関係機関との連携を深め、年間平均利用率は90%以上となりました。</p> <p>また、適切に物品管理、節電、節水により諸経費のコスト削減に努めました。</p> <p>利用者が解決すべき課題が発生した場合は居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、ご家族と連携し、サービス担当者会議等により課題を解決していきました。</p>
<p>介護のプロとして質の高いサービスを提供します。</p>	<p>毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め、介護力の向上を図ります。又、利用者、主介護者等からの介護相談等に対応し介護負担の軽減に努めます。</p> <p>介護職員にフロアリーダーを定め、一日の業務の役割分担を明確にし他職種との連携を図ります。</p> <p>職員が介護福祉士、介護支援専門員など資格取得を目指します。又、資格受験者をサポートします。</p>	<p>毎日1名のリーダーを配置し、日々の業務を円滑に行えるようタイムテーブルの見直しを行いました。ケアプランに基づいた歩行練習、運動器を使用したプログラムや、立ち上がり訓練を実施し機能の維持、向上に努めました。</p> <p>また、平成26年度の研修計画に基づき研修を実施しました。デイサービス交換研修では、2名の職員が蒔田デイサービス、高篠デイサービスで研修を実施しました。</p>
<p>地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。</p>	<p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を担います。</p> <p>幼稚園、小学校、介護体験、ボランティア等との交流を図り、世代間のコミュニケーションの場を提供します。</p> <p>お花見外出や年中行事を通じて、季節感を感じるレクリレーションを行います。</p> <p>広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。</p>	<p>外出行事では吉田地域や小鹿野地域、万場町への外出を中心に地域交流を図りました。</p> <p>また、利用者との共同制作の、ゆるキャラ貼り絵を地域の作品展に出品しました。</p>

平成26年度 高齢者生活支援ハウス吉祥苑 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>職員会議、研修への参加を通じて、情報の収集・共有を図り、適宜課題を検討していきます。</p>	<p>月1回のミーティングで、入居者の生活状況を職員で共有し課題の解決を図りました。 安全な住環境を提供するため、施設内の設備を点検し、不具合箇所の修繕を随時実施しました。</p>
	<p>施設設備の保守など適正な管理を行います。</p>	
<p>生活支援員としての知識や技術を習得し、組織内で個々の力量を十分に発揮します。</p>	<p>入居者が生きがいや親交を深められる行事、レク活動を企画・立案します。</p>	<p>生きがいづくりのため、近隣の商店へグループ単位で買い物に行きました。また、デイサービスの利用者と一緒に、みかん狩りや蕎麦外食等の行事や、給食業者と協働しおやつイベントを開催しました。その他、入居者に地域の各種サービスを紹介し、社会資源を有効に利用してもらいました。</p>
	<p>地域内の社会資源を把握し、入居者が自立した生活が送れるよう、生活上の相談や助言を行います。</p>	
<p>高齢者生活支援ハウスに期待される役割を自覚し、安心・安全な生活を実現します。</p>	<p>秩父市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など関係機関との連携を図ります。</p>	<p>入居者の急変時は、ご家族、病院へ連絡し、病院受診の支援をしました。また、入居者の生活上の課題については、ご家族、ケアマネージャーと連携を図り、課題を解決しました。</p>
	<p>入居者の生活上のニーズを把握し、すみやかに課題解決が図れるよう支援します。</p>	
	<p>災害時や入居者の急変時など緊急時対応の強化を図ります。</p>	

平成26年度 秩父市社会福祉事業団居宅介護支援事業所 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を強化し、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的に行います。	140件以上の支援者数を維持します。	関係機関や医療機関等と密接な連携を図り、年度末には164名の利用者を支援し、事業拡大を図ることができました。特に、冬季の12月と1月に利用者の入所や他界が続く利用者数が減少しましたが、各機関へ積極的に営業活動を実施し、2月11件、3月10件の新規利用者の受け入れを行いました。 要支援認定者は、包括支援センターからの委託を多く受け入れ支援者数が増加しました。また、要介護状態になった場合も、継続して支援できるような体制や計画書の作成を行いました。また、各医療機関と連携を図ることで、新規利用者の獲得だけでなく利用者が入院した際にもスムーズな退院調整ができるようになりました。
	介護保険委託業務の認定調査を実施します。	
	介護保険委託業務の予防支援の委託受け入れを積極的に行います。	
	困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。	
	認定審査会への出席を継続して行います。	
	市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。	
専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めることで、個人の生活の質が向上できるような支援を行います。	地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。	利用者数が増加し、様々なケースを支援することで、新たな事業所でサービスを利用する機会が増えました。利用者にあったサービス事業所の選定や、ご本人の身体状況、家族環境等に応じた計画を立案し、ケアプランの質的な向上を図りました。 また、孤立しやすい業務の中で、各担当利用者の情報を共有し、チームとしての利用者の支援を行いました。それにより、支援困難ケースや緊急対応が必要な場合に、担当者以外の職員で利用者対応することができ、隙間の無い支援を行う事ができました。
	介護支援専門員更新研修及び主任介護支援専門員研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。	
主任介護支援専門員を配置し、介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導を行います。また、「特定事業所加算Ⅱ」の算定を今年度中に行い、運営状況の安定を図ります。	事業所内における利用者に関する情報及びサービス提供にあたっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週1回開催します。	平成26年6月より特定事業所加算を算定しました。 また、加算要件の一つである、週1回の会議を実施し、それにより各担当利用者の把握と意見交換ができ、様々なサービスへと繋がりました。更に、定期的に事例検討を行い、各ケアマネージャーのケースを深く検討することで問題解決へと繋がり、利用者の在宅生活の安定を図ることができました。
	24時間連絡体制がとれるようにしていきます。	
	計画的な研修計画を介護支援専門員へ実施します。	
	包括支援センター等から依頼された困難ケース等の事例にも積極的な受け入れを行います。	
	「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。	

平成26年度 秩父市ヘルパーステーション 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>利用者の積極的な受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。</p>	<p>新規利用者の受入れを積極的に行い、訪問介護利用率の向上を図ります。</p>	<p>積極的に利用者の受入れを行い、平成27年3月には登録利用者数が74名、訪問者数についても72名となり、平成26年4月より31名増加しました。 また平成27年2月には障害者自立支援法の指定を受け、事業の拡大を図ることができました。</p>
	<p>利用者の自立度に合わせたサービスを提供し、生活の質を向上するように努めます。</p>	
	<p>困難ケースや緊急ケースを積極的に受け入れ、迅速な対応を行います。</p>	
<p>サービスの質を向上させ、職員の資質向上を図ります。</p>	<p>医療・福祉・介護に関する研修へ積極的に参加します。また、地域及び他事業所主催の研修会へ参加する事で個人のスキルアップを図ります。</p>	<p>月1回のミーティングを開催し、各利用者の特性や細かい依頼についても対応できるようにしました。勉強会も毎月開催し、その中に調理の実習を取り入れ、ヘルパーの資質向上に努めました。また、各ヘルパーにおける得意な分野を把握し、各利用者に合ったヘルパーを割り当てるようにしました。 次年度から、新たに事業所滞在型のヘルパーを配置し、更に柔軟なサービスを提供していく体制をつくりました。</p>
	<p>利用者の健康状態等の情報提供・報告・連絡・相談の周知徹底を図ります。</p>	
	<p>月1回のミーティングを開催し、事例検討や事業所内研修を行いながらスキルアップを目指します。</p>	
<p>利用者(利用者家族)や地域との連携を緊密に行います。</p>	<p>関係機関との情報交換等を行い、連携を強化することで、発生する課題の迅速な解決を図ります。</p>	<p>他の訪問介護事業所と連携し、情報交換を行いました。その結果、平成27年度から『秩父地域訪問介護連絡会』が発足し、それに参加することになりました。 利用者本人やご家族との情報交換においては、毎月サービス提供責任者が訪問する事で、利用者の意見を集約しました。それを担当ヘルパーに伝達し、利用者が求めているニーズに即したサービス提供を行う事ができました。</p>
	<p>利用者及び家族に対し支援内容を、わかりやすく丁寧に説明し、信頼関係を構築します。</p>	
	<p>広報誌を作成し、利用者・家族へ介護サービス情報の提供を行います。</p>	

平成26年度 秩父市重度心身障がい者通所施設ふあいん・ユー 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
各関係機関と連携を図り信頼関係を築きます。	秩父市(障がい者福祉課)、秩父特別支援学校、相談支援事業所と連携を図り、信頼関係を築きます。	利用者、ご家族に、安心して利用していただくよう家族懇談会を開催し、日々の利用状況の報告や、要望の聞き取りを行いました。 レクリエーション活動では、体調面で細心の注意をはらいながら、季節感のある外出や、利用者の意向に沿った買物外出、芸術鑑賞などの外出を行いました。 今年度は、事業所のサービス向上を図るため、秩父市障がい者福祉課職員と、秩父地域の障がい福祉サービス事業所の視察を行いました。その他、秩父特別支援学校での就労支援会議への参加や、相談支援専門員との連携に努めました。 施設管理においては、設備の定期的な安全点検を行い、入浴設備の修繕や消防訓練を実施しました。また、職員全体でコスト意識を持つよう、使用物品の無駄を省くと共に、節電・節水に心がけました。
	秩父特別支援学校での障がい者支援会議への参加や、関係機関との報告、連絡、相談を行い信頼関係を築きます。	
ご家族、利用者の方々が安心して利用できるよう良好な関係を築きます。	定期的なボランティアの受け入れを行い、さまざまな方との交流を通して潤いのあるサービスを提供します。	
	職員の資質向上のため、定期的に職員勉強会を開催します。	
個別ニーズに沿った質の高いサービスを提供します。	地域で開催されるイベントや、季節感のある外出を行い、質の高いサービスを提供します。	
	利用されている方それぞれに個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行います。	
	体調には細心の注意を払い、安心して利用していただくよう支援を行います。	
職員全体でコスト意識を持ち効率的な運営を行います。	適切な物品購入を行いコスト削減を図ります。	
	年間の節電計画に沿った経費の削減を行います。	